

向学館通信

2009・5・26

中・高生の多くは、いまからテスト対策です。みなさん、今度のテストは高得点を目指して頑張らしましょう。早めにテスト範囲の復習をしましょう。自習をもっと活用しましょう。

定期テストの結果は、問題と解答をかならず提出してください。

テスト対策は、万全を期して！

これまで、中学生の定期テストでは、かなりの高得点をとる人や、以前に比べて成績が良くなった人が増えてきました。また、この塾でふだんは学んでいない教科でも、高得点がとれる人が増えました。これらの結果は、テスト対策をしっかりとやり遂げる人が増えた結果だと思えます。

塾での定期テスト対策として、

テスト範囲のプリントまたは過去問を、生徒に配る。

テスト前の2週間は、塾で受講していない科目でもテスト勉強するのはOK。

通常受講もテスト前は、テスト対策に切り替える。 などを行っています。

こうしたやり方で、高得点を取る人がしだいに増えてきたと思います。

しかし、少数ですが、テスト対策プリントを「欲しがらない」人や、プリントを家に持って帰っても、ほとんど手をつけない子もいます。こうした子は、自習に来るようにと勧めても、来たことがありません。この人たちの対策は、また別の手立てが必要かもしれないと、頭を痛めています。

テスト対策の勉強を家でもしてほしいのですが、ほとんど家で勉強しないようなら、ご連絡ください。三者面談でもして、子どもの気持ちに働きかける必要があるかもしれません。

中学生のテスト対策の勉強方法について

中学生のテスト勉強の仕方には「その場しのぎ」のための「無駄」がかなり多いと思います。とくに目立つのは、理科、社会の勉強の仕方です。

特に、中3生では、今頃のテストは、高校入試のための勉強もかねていると考えてください。今頃やっている範囲の、社会の「公民」や理科の各単元は、高校入試にもいちばん出やすいところ。だから、しっかりと理解して入試本番まで頭に残るような勉強の仕方をしなければ、大損です。定期テスト直前になって大急ぎで「つめこんで」その場しのぎをすれば、1ヶ月もたてば覚えたことをみんな忘れることとなります。高校受験直前になってまた慌てて受験勉強のし直し、ということになります。

中1、中2も、学校のテスト勉強が「蓄積」になっていない「その場しのぎ」では、高校受験の時に、人の何倍も苦労することになります。

テスト範囲の「丸暗記」で何とか点数を増やそうというようなことでは、「蓄積」が期待できません。丸暗記したことは、テストが終われば、ほぼ忘れてしまいます。理解すべきことは論理的に理解し、覚えるべきことは、その場限りにしないで、ノートに取るなどして、後で見返せるような方法にしなければ、頭の中の蓄積は増えません。

「理科や社会は、暗記もの」という風に考える人がいますが、これは、正しくないと思います。中学以上の勉強内容では、暗記だけで対応できる量ではありません。論理的に理解したり、いろんな関連を見抜いたり、本質的なことと派生的なことを区分けしたり、なぜこうなるのかといった疑問を持つ、などなどのことで頭を使いつつ、勉強してください。

勉強の仕方が分からない人は、ぜひ相談に来てください。

英語の学習は、自習に来て「アロックワーク」を使おう。

英語の学習があまり進んでいない人は、授業だけでは追いつかないと思います。ぜひ、自習に来て勉強を進めてください。アロックワークは、パソコンを使って英語を入力すると、ネイティブの発音で文や単語を読んでくれます。だから、文や単語の練習だけでなく、発音にも馴れるし、とてもいい学習方法です。もっと積極的に活用してください。